

ご利益

五穀豊穡 雨乞い

やまとかつらぎさん

## 大和葛城山

役行者ゆかりの山は、春はカタクリ、秋はススキに彩られ、初夏の山頂には一目百万株のツツジの大庭園が広がる



▲大和盆地の眺めがすばらしい山頂の見晴台

標高960m  
奈良県

歩行時間

約2時間30分

標高差

650m

問合せ先

御所市役所産業振興課

☎0745-62-3001

葛城山ロープウェイ

☎0745-62-4341

登山適期

2月上旬～12月中旬

ロープウェイ葛城山上駅の近くにある葛城天神社は、天神の森とよばれるブナの原生林のなかに鎮座している。ご祭神は国常立命（くにのとこたちのみこと）で、大日大聖不動明王や役行者像も祀られている。神社の境内には天神の森嶋山といわれる古代祭祀遺跡があり、石器や土器の破片が出土していることから古代の祭祀遺跡に神社が立てられたとみられている。かつては「篠峰」、「戒那山」と呼ばれた。かつらぎの名は『日本書紀』によれば、神武天皇が大和の平定の際、抵抗する土着民を葛のつるで編んだ網をかぶせて退治したことに由来する。現在も山麓には、雨乞いのために村人が集まった雨願の鳥居があり、安位川の源流にある摂社竜王社の付近には「廿九丁」「三十丁」の町石が残っている。

## コースガイド

山頂をめざしてロープウェイを頭上に仰ぎ、安位川沿いに登る

葛城ロープウェイ前バス停・葛城登山口-20分→榊羅の滝-1時間30分→婿洗いの池-20分→葛城山山頂-20分→ロープウェイ葛城山上駅-ロープウェイ6分→葛城ロープウェイ駅前バス停

奈良県御所市の西には金剛山地が山並みを連ねている。この金剛山地の中でひととき目を引く二つの高峰が大和葛城山と金剛山だ。昔から奈良の人たちは大和葛城山を「葛城山」と、大和を付けずに呼び親しんできた。大和葛城山の山頂には草原が広がっていて、初夏にはツツジの大群落が満開になり、秋にはススキの穂が黄金色の波のように揺れている。

山頂までの登山コースは、いくつかあるが、利用者が多いのは登山口までのアクセスの良い「榊羅の滝コース」と呼ばれる道



▲杉木立のなかの木の階段を登る

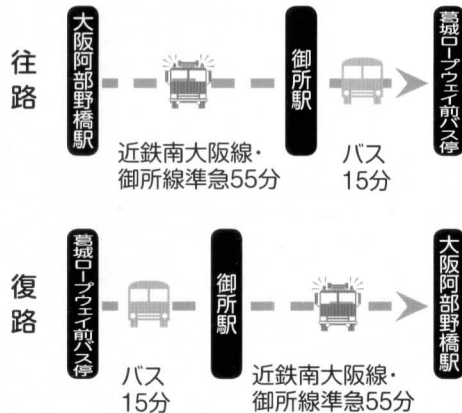
である。このコースは、登山口から山頂付近を結んでいるロープウェイ沿いに登っている。ここでは榊羅の滝コースから山頂をめざし、ツツジ園から自然研究路へとめぐる道を紹介する。

葛城山ロープウェイ前バス停の周辺は、週末やツツジの咲く頃は葛城山や葛城高原へ向かう多くの登山者や観光客でにぎわっている。ロープウェイを利用すれば、中腹の葛城山上駅まで6分ほどの空中散歩で運んでくれる。

葛城山ロープウェイ前バス停から出発す

## アクセス情報

大阪から電車・バス利用で



▲ロープウェイは登山口から山上駅まで6分

Power Spot



▲▲古代祭祀の遺跡に立つ葛城天神社。天神の森とよばれるブナの巨木に囲まれた葛城天神社の境内には、古代から神が住まう場所として人々に崇められた雰囲気が漂っている。ご祭神の国常立命は『日本書紀』で最初に現れた神様だが、『古事記』では、高天原に第六番に現れた神と伝えられている。この境内には加茂氏の祖、加茂建角身命（かみたけつぬみのみこと）（八咫鳥 やたがらす）の神跡とも考えられている





▲山頂に近くなると草原が広がり展望が開ける



▲広場になっている葛城山山頂

る。バス停から少し進んだ不動寺の先から安位川に造られた砂防堰堤を越えながら登っていく。安位川沿いにしばらく登ると目の前に櫛羅の滝が現れる。この滝の名前は弘法大師が天竺のクジラの滝に似ていることから付けられたと伝えられる。修験道の開祖役行者が荒行をしたことでも有名で、ここで滝修行をすると不動明王の功德によって脳の病気に効くといわれ、別名「尼ヶ滝」「不動の滝」とも呼ばれる滝だ。

安位川沿いの砂防堰堤をいくつか越え、行者の



▶樹林のなかを登る安位川沿いの登山道。▲早春にカタクリの花も見られる



滝を過ぎると、一旦、コースは安位川を離れて杉小立のなかの急登をジグザグに登り、再び安位川と合流して川沿いを進むようになる。しばらく安位川を遡っていくと、源流の婿洗いの池がある広場に出る。広場からさらに登ると、まもなくロープウェイ山上駅からの道が合流してきて、ここは左に折れて山頂に向かう。山頂部に立つ白樺食堂の前を右に進むと、草原が広がる葛城山山頂に到着する。

金剛山地の北に位置する大和葛城山の山頂からの展望は360度で、東に大和盆地を見下ろし、西に大阪湾や淡路島、北には二上山から信貴生駒の山並みが望め、南には雄大な金剛山がどっしりとした姿を見せている。

山頂から金剛山を眺めながら下ると南西斜面に広がる自然つつじ園に出る。花が満開に咲く見頃の5月初旬から中旬には「一目百万株」とたたえられるヤマツツジの紅で山が燃えるように染まり、多くの観光客が訪れる所である。

自然つつじ園からは、指導標にしたがって自然研究路を一周しよう。よく整備された道を山腹を巻くように進み、しばらくして谷に向かってジグザグを切るように下る。ほぼ下りきったところでカントリー谷に架かる吊橋を渡ったら再び登りになり、ベンチのある見

晴らしのいい尾根上に出る。尾根沿いにたどると約1時間の自然研究路は終わり、ロープウェイ葛城山上駅に出る。葛城天神社にお参

りしたらロープウェイで葛城ロープウェイ駅前バス停に下る。

▼5月初旬から自然つつじ園では満開のツツジが楽しめる

